



一般社団法人日本テレワーク協会



一般社団法人セキュアIoTプラットフォーム協議会

安心安全テレワーク施設認証プログラム ～選ばれるテレワーク施設になるために～

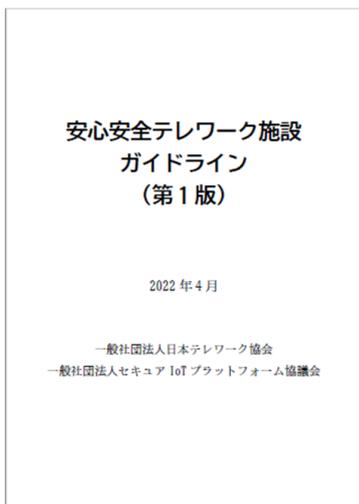


テレワーク施設が増加している中、利用者に“選ばれるテレワーク施設”になるため、施設の安全性を確認する「安心安全テレワーク施設認証マーク」の取得をご提案します。

総務省・経済産業省・厚生労働省のオブザーバー参加を受けて作成したガイドラインを認定基準に発行する認証マークは信頼の証です。

●認定基準

「安心安全テレワーク施設ガイドライン(第1版)」への適合性を確認し、認定を行います。



セキュリティ、作業環境、施設環境の課題と対策	
第1章	セキュリティ管理体制の構築（ポリシーの例示等）
第2章	個人情報・利用者管理
第3章	入退出管理
第4章	ネットワークセキュリティ
第5章	物理セキュリティ
第6章	作業環境管理（居室の空間確保、照明、換気、什器備品等要件）
第7章	施設環境管理（セキュリティや安全衛生に対する現場対応の考え方等）

基本対策、応用対策、対策事例、コラム、チェックリスト

<https://japan-telework.or.jp/wordpress/wp-content/uploads/2022/04/a-a-g.pdf>

● 認証のグレード

監査/検査項目や検査方法により3種類の認証マークが付与されます。

第三者検査機関検査

プレミアムグレード



ガイドライン基本対策・
応用対策に適合した
高度な情報セキュリティ
および作業環境対策が
構築されており、利用者が
信頼してテレワークが可能。

監査/検査項目

- ・情報セキュリティ監査：基本・応用対策
- ・脆弱性診断
- ・作業環境管理（セルフチェック）

ビジネスグレード



ガイドライン基本対策に適合
した情報セキュリティおよび
作業環境対策が実装されて
いる。脆弱性検査は対象外。

監査/検査項目

- ・情報セキュリティ監査：基本対策
- ・作業環境管理（セルフチェック）：基本対策

セルフチェック

セルフチェックグレード



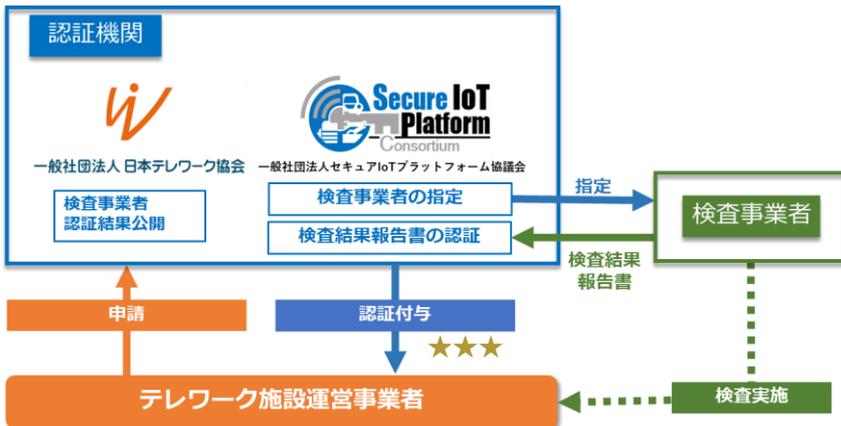
ガイドライン基本対策への
適合性についてセルフチェック
と証跡（エビデンス）で確認する。

確認項目

- ・情報セキュリティ監査：基本対策（セルフチェック）
- ・作業環境管理：基本対策（セルフチェック）

新設

● 体制



※セルフチェックグレードには、検査事業者は介在しません

● 申請フロー



● 費用：

初回審査（申請手数料、証書発行料、検査料）

- ・プレミアムグレード ★★★★★：37万円(税別)～
- ・ビジネスグレード ★★★：22万円(税別)～
- ・セルフチェックグレード ★：10万円(税別)

※1年ごとに更新審査

● 問合せ先/申込先：「安心安全テレワーク施設認証プログラム」事務局
E-mail: contact@secure-iot.org